



【学校教育目標】 一人一人の子どもの自立と社会参加を目指して、児童生徒が生涯にわたり成長発達を続けていく基礎を養い、社会を形成する一員として、心豊かにたくましく生き抜く力の育成を図る。

すべての子どもたちに「育てたい4つの力」を中心に中長期的な目標を定め、個別の指導計画を策定するものとしています。

- ① いろいろな人とかかわりの中で安定して生活する力
- ② 自己選択・自己決定できる力
- ③ 生きがいを見出す力
- ④ 自分の身体について知り、持てる能力を最大限に生かす力

令和7年度 子どもも 教師も 大切にしていくこと

「みつける」「つたえる」「つくる」

これらを大切にいくことで、「主体性」(自分から)、「集団参加」(仲間と一緒に)、「人とかかわり」を育み、高めていく

群馬県教育ビジョン (R6～R10年度)

**「自分で考えて 自分で決めて
自分から動き出す」**

行動し続ける「自律した学習者」の育成

【運営方針】

- 1 教師と保護者、地域社会、福祉関係機関、医療機関、寄宿舍との協力体制を強化して児童生徒の安全と健康を確保する。
- 2 児童生徒の障害の実態に即した教育を推進する。
- 3-1 自立活動の指導を充実して児童生徒個々の障害の状態の改善及び障害を克服する態度の育成に努めるとともに、自立活動で培った力を基盤とする教科指導を計画的に行い、生活の質の向上を図る。
- 3-2 最新技術を活用した指導の充実を図るとともに、キャリア教育に全校で取り組むことにより長期的に一貫した指導を行う。
- 4 特別支援教育のセンター的機能を発揮して、地域の支援・協力体制づくりを行う。
- 5 協働して教育活動を紡ぐ「チーム二葉」の充実・発展に向けて、教職員の紐帯を強くする。

【重点目標と取組の方向性】

1 児童生徒の安全と健康の確保についてすべてを優先させ、教職員や保護者、関係者等と緊密に連携する	2 一人一人の実態に応じた教育計画を策定し、これに基づく実践を展開する	3 自立活動の指導と教科指導に係る実践力の向上を図り、情報通信技術等を活用する授業やキャリア教育を推進する	4 特別支援教育のセンター的機能を果たし、地域における支援・協力体制を発展する	5 教職員が「チーム二葉」の一人として使命感と責任感を持って取り組む
① 心身の細かな変化に気付き、関係者で共通理解に努め、安心な学校生活を実現します ② 愛情を持って子どもとかかわるとともに、丁寧・適時・適切に保護者等に対応します ③ 個別救急マニュアル等を不断に見直し、変化する状況に対応できる体制構築に努めます ④ 保護者等の協力を得ながら、学校における医療的ケアを適切に実施します ⑤ 安全な学校給食を提供します	① ⑦何ができるようになるのか、④そのために何を学ぶのか、⑦それはどのように学ぶのか、といったことについて丁寧に検討し、一人一人の学びの地図となる個別の指導計画や年間指導計画等の効果的な活用を図ります ② 仲間と取り組む経験を豊かに持てるようにします ③ 本人・保護者の思いや願いを踏まえた教育計画の策定に努めます	① 達成感や成就感を味わい、成功体験を積み重ねるとともに、自己選択・自己決定の体験を積み重ねるようにして、主体的に生活し、生きようとする力を育みます ② 自分の気持ちを伝えたり、人とかかわったりしてコミュニケーション力を育みます ③ 最新技術の情報収集と研究に努め、授業に取り入れます ④ キャリア教育全体計画を踏まえた指導実践に努めます	① 子ども理解や指導・支援を充実できるよう、60分ケース会議を積極的に実施します ② 専門アドバイザーの巡回相談等により、地域の小・中学校や関係機関と連携した指導・支援を継続します ③ 発達相談、就学相談等を継続的に行い、教育支援の充実に努めます ④ 二葉高等特別支援学校等と連携・協力し、県内の肢体不自由教育を推進します	① 人権を尊重し、心豊かな集団を教育環境として整えます ② 校務分掌が一層機能するよう再組織し、一人一人が役割を自覚し、適正かつ効率的に業務を行います ③ 教師力や専門性の向上のため、研修によって知識を高め、授業参観や検討会などをとおして学び合います ④ 服務規律を確保します ⑤ 適正・効果的な予算計画に基づく教育活動を行います